

咳喘息・アトピー咳嗽に対するモンテルカストの有効性に関する研究

(独) 国立病院機構金沢医療センター呼吸器科

北 俊之、良元章浩、犬塚賀奈子

金沢大学大学院細胞移植学呼吸器内科

戸来依子、大倉徳幸、原 丈介、古荘志保、阿保未来、明 茂治、藤村政樹

Kanazawa Asthma Research Group

石浦嘉久、小川晴彦、西 耕一

【目的】咳喘息(CVA)やアトピー咳嗽(AC)などの慢性咳嗽に対するモンテルカストの有効性について検討した。

【方法】CVA・ACの診断基準を満たす59名(平均年齢44.2歳)を対象とした。 β_2 刺激薬を1週間投与した後、 β_2 刺激薬が有効のCVA群(36名)と、 β_2 刺激薬が無効のAC群(23名)に分けた。さらに、CVA群はモンテルカスト投与群、 β_2 刺激薬投与群、 β_2 刺激薬+モンテルカスト投与群の3群に、AC群はモンテルカスト投与群、モンテルカスト非投与群の2群にわけ、各々の治療を2週間行い、咳点数、呼吸機能検査、カプサイシン咳閾値を比較検討した。

【結果】モンテルカスト投与によりCVA群で咳点数は改善したが、AC群では変化しなかった。CVA群・AC群ともに、モンテルカスト投与前後でカプサイシン咳閾値は変化しなかった。

【結論】モンテルカストは、CVA群において有用であることが示唆された。現在、CVA、AC各々の群で、モンテルカスト投与の有用性について比較検討試験を実施中である。